

あさまる通信



ASA

今月号は『まるごと防災特集』です。

◆地震・津波災害と防災

9月4日(日)袖ヶ浦公民館で、フレンドシップ袖ヶ浦主催「埋立地袖ヶ浦の地震・津波災害と防災」についての講演会がありました。講師は習志野市役所安全対策課の土本克巳さん(消防から出向中)です。先日の地震や台風で関心が高まったせいか、会場には50人以上の人が集まりました。

まず被害想定調査による地盤状況を色別している地図を使い、地震による液状化しやすい地区の説明があ



りました。習志野市では、やはり埋立地、旧菊田川、低湿地帯の地盤が弱いそうです。建物の基礎が液状化する事により、壊れる危険性があります。古い建物ほど、その可能性が高いといわれています。ただ、土本さんによると液状化問題もさることながら、昭和56年以前の古い建築基準法で建てられた、在来工法の建物などの倒壊や火災の方が、生命の危険に関わるかと強調していました。古い建築基準法で建てられた建物は、地震への耐久性が劣る事から、結果として防火の面でも問題があるようです。

この点については、できれば習志野市の建築課の窓口で紹介する業者等から耐震診断を受け、自分の家がどういった状態なのかを確認して下さい。

い。また耐震補強の必要があれば、予算に応じて建物全体か、寝室や居間の補強だけでも効果があるとの事。鉄骨構造の場合でもメンテナンスをしないと、強度が格段に落ちる事があるので気を付けて下さい。公団団地の建物は壁が多いので、古くても倒壊しづらく、かつ空地が比較的多いので火事の延焼が避けられる確立が高いとの調査結果があります。

しかし災害の危険はそれだけではありません。どんな新しい建物でも、家具や電化製品の転倒などの事故が起きます。家具の固定をすれば、安心という訳ではありません。飾り壁や吊り天井などの場所では、支えきれない場合もあるので注意が必要です。カラまたは衣類の入ったダンボール箱を、家具と天井の間にしっかりと詰めておく事も効果的です。ただし、高い所に置いてある本等の重い物は、下に降ろして下さい。先日の地震でタンスの上から荷物が落ちて怪我をしたケースがありました。

地震で一番怖いのは火災です。地震により多数の火災が発生した場合に、消防車が行けない可能性が非常に高くなると考えられるからです。火災は天井に燃え移る前の初期消火が大切です。火が小さい時は隣近所と協力して消火活動しましょう。普段から自主防災組織の訓練には積



極的に参加して、消火器等の使い方に慣れましょう。

津波については、東京湾の構造は入り口が狭く中が広がっており、波が拡散されるので大きな被害は起こりづらいと考えられています。しかし津波は普通の波とは違い、たった10cmの津波でも足をさらわれる危険があるので、決して現場を見に行くような事はしないで下さい。



土本さんから、災害防止の最終目的は「人命」という事が強調されました。同時に災害に対する心構えとして「災害に備えて、どのように準備するか」「もし災害が起こったら、どう行動するか」という事を、まず自分自身で考える事が基本的に必要であるというアドバイスがありました。これを機会にみなさんも次のチェックポイントを見直してみてください。

- ① 非常用持出袋を用意。非常用備品は各家庭によって用意する物が違うので、「これがないと困る」という物を最低限用意。忘れがちなのは、メガネ(虫眼鏡)、入れ歯の固定剤、持病の薬(薬手帳)、粉ミルク、現金等。
- ② 非常用食品の賞味期限チェック。賞味期限が過ぎないうちに買い替え、古くなった非常用食品は、味に慣れる為に試食するとよい。
- ③ 日頃から手の届く所(部屋に一つ)に、灯りの付く物を置く。懐中電灯、携帯電話等。
- ④ レジ袋、小銭の用意。レジ袋はバケツや手袋の代わりになる。災害時優先の公衆電話は10円玉しか使えない。

⑤ 風呂の水は抜かない。ただし子供のいる家庭は水の事故のないように注意。

⑥ 地震が起きたら、すぐ外にでない。落下物があり危険なので、出口の確保だけする。

⑦ 家族間で避難場所を2、3ヶ所決める。家の倒壊危険や火災が迫って来ているなど、どうしても避難をしなければならなくなった場合、避難場所へは徒歩で行き、車は使わない。(習志野市内指定避難場所：裏面参考)

⑧ 初期消火は早めにする。熱した油や湯などは様子を見て、手にかからないように落ち着いてコンロを止める。消火用具の備えは忘れずに。

⑨ 噂に惑わされない。災害情報は、ラジオや防災無線(スピーカー)や、戸別受信機(自主防災組織や公共施設に配備)で入手する。ラジオやテレビ等の情報では習志野市は「千葉県北西部」と発表される場合がある。

⑩ 普段から隣近所と顔見知りになり、避難する時も確認しあい協力する。特にお年寄りや障害者の人には、声をかけ手助けを。

⑪ 地域ぐるみで応急救護の体制作りをする。

⑫ 狭い路地やブロック塀には近づかない。崩れて下敷きになる場合も。

⑬ 家の内外を問わず、運動靴などの履物を着用。ガラスの破片等でのケガが多い。



あさまるinfo

◆アルゼンチンタンゴ コンサート
日 時：9月25日(日)午後2時から
場 所：新習志野公民館 多目的室
曲 目：パリのカナ口、エル・チョコ口、たそがれのオルガニート、バンドネオンの嘆き 他
演 奏：田辺義博(バンドネオン)、金益研二(ピアノ)、石井有子(ヴァイオリン)、吉田水子(ベース)
問合せ先：新習志野公民館 電話 453-3400

◆船橋オペラ協会 オペラアリアと二重唱
日 時：10月2日(日)午後1時30分(開場)午後2時(開演)
場 所：宮本公民館 講堂(京成大神宮下駅徒歩5分) 入場無料
曲 目：ロッシーニ「セヴィリアの理髪師」より モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」より ヴェルディ「椿姫」より 他
指 導：應和恵子 ピアノ：中田 桂
出 演：小田切恵美子、上島 勲、萱嶋いづみ、原田ヨリ子、山本三枝子

問合せ先：萱嶋 電話 472-5803
◆平成17年度「明日の親の学級」後期プログラム
日 時：10月の下記日にち午後1時30分から
場 所：菊田公民館(10/29のみ谷津コミュニティセンター)
内 容：10/1(土)「家庭における父母の役割」
10/8(土)「心を育てる乳幼児の健康食」
10/15(土)「お父さんの育児参加」
10/27(木)「母胎と乳児の保健」
10/29(土)「お父さんの育児参加1」
募集定員：初めて子を持つ両親 20組
申込・問合せ先：菊田公民館 電話 452-7711